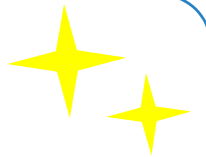


～出張研修～



知って安心！施設向け感染症対策

施設での必要な感染症対策を学び、入居者の健康を守りましょう！

○内容例

- ・基本的な感染症対策の知識
- ・手指消毒や手洗いの実践
- ・PPE(個人防護具)着脱練習
- ・感染症発生時の対応について etc...



〈研修を受けた施設の実際の声〉

- ・いつもの手洗いでは汚れがとれきれていない事が分かった。
- ・不安だった感染症対策が相談でき自信に繋がった！
- ・保健所から研修を受ける事で施設としての実績になった！

○申し込み

ご希望の日時・研修内容を下記の連絡先までご相談下さい。

可能な限りご希望に添えるよう調整します。

〈問い合わせ先〉

東大阪市保健所 感染症対策課 電話:072-960-3805
FAX:072-960-3809

業務合間の30分
からでも可能！



ウイルスを

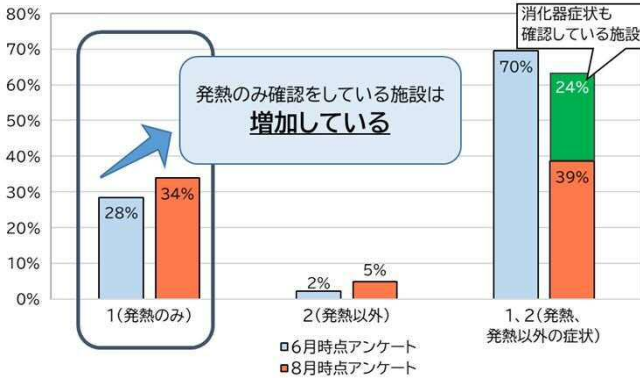
持ち込まない、持ち出さない、拡げない！

(令和5年6月～9月に実施した東大阪市内高齢者入所施設アンケートの結果より)

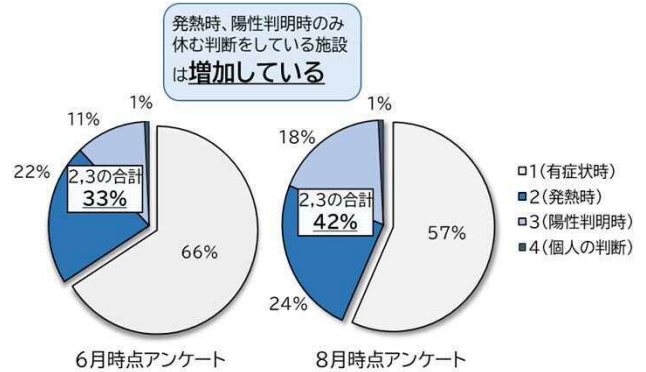
職員の健康管理

症状の確認項目

※8月時点アンケートのみ消化器症状を確認



出勤不可の判断



感染症は発熱以外にも呼吸器症状や消化器症状が現れることもあります。そのため、発熱以外の症状の項目も定めておきましょう。

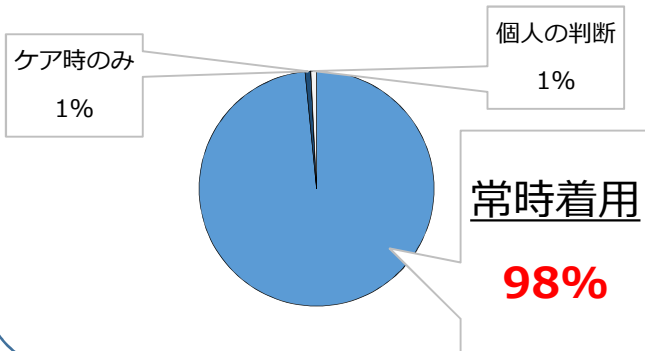
また、施設内で感染症を拡げないために、具体的な報告基準(タイミングや方法)を決め、少しでも体調に異変がある時に報告しやすい環境を整えましょう。

大阪府HP 職員用健康チェック表

(<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/42319/00000000/staffcheck.pdf>) ご活用ください。



施設でのマスク着用の基準 (%)



重症化リスクが高い高齢者の健康を守るため、場面に応じたマスク着用を継続し、飛沫による感染リスクを減らしましょう。

例えば・・・

- ・正しいマスクの着用方法と効果的な場面を確認
- ・面会者、外部事業者にも着用をお願い

他にも・・・

手指衛生や必要に応じたフェイスシールドやエプロン着用で感染を遮断！

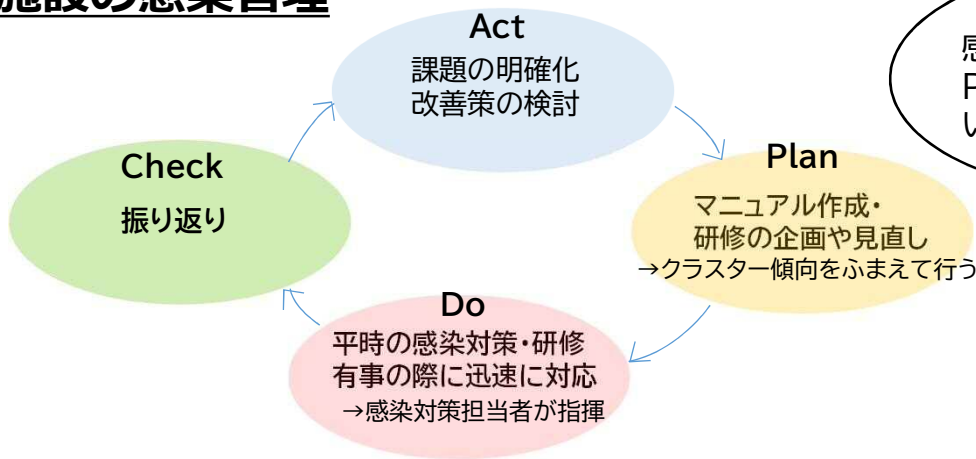
東大阪市保健所 感染症対策課

TEL 072-960-3805 FAX 072-960-3809

EMAIL s-corona@city.higashiosaka.lg.jp



施設の感染管理

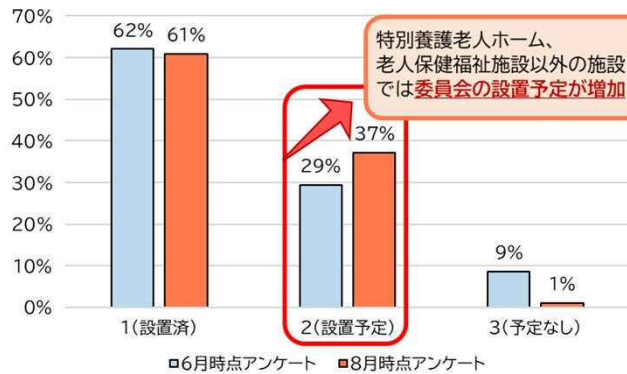


感染対策向上のため、
PDCAサイクルを回して
いきましょう。



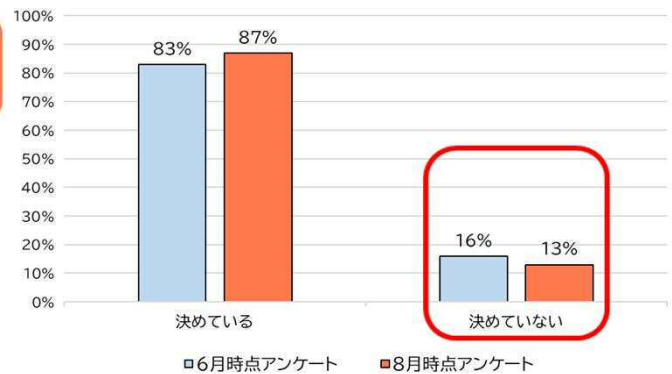
感染対策委員会の設置

(特別養護老人ホーム、老人保健福祉施設以外の施設)



感染対策担当者

施設全体の担当者割合



感染対策委員会や感染対策担当者を設置し、感染対策担当者が指揮をとりましょう。
また、有事の際には職員間で情報共有を行い、感染対策委員会で問題を把握・検討し、
迅速に対応できるような環境を整え、感染制御に努めましょう。

*令和3年度介護報酬改定により、感染対策委員会の設置が施設類型に関わらず令和6年4月から義務化されます。

【委員会の内容例】

- ・マニュアルの見直し
- ・施設におけるルールを決定し、職員に共有を行う
- ・研修や感染症発生時のシミュレーション訓練の企画
- ・有事の際に全体を把握し、方針を決定する

平常時に初期対応をリスト化して
いた施設では、感染症発生時に初
期対応がスムーズに進み、早期収
束につながった例もありました！

研修

研修については9割以上の施設が実施できていました。
研修を実施することにより、施設で働く職員の感染対策を向上させ、早期の感染
拡大防止につなげましょう。

- 新規採用時の感染対策研修
- 全職員に向けての知識普及
- 感染症の流行時に必要に応じて随時開催
- 一度だけでなく繰り返し受講し、最新の知識の習得

定期的研修を行い、
の項目を見直してみよう！

高齢者施設における平時的感染対策

<https://www.city.higashiosaka.lg.jp/kikikanri/0000035647.html> ご活用ください。



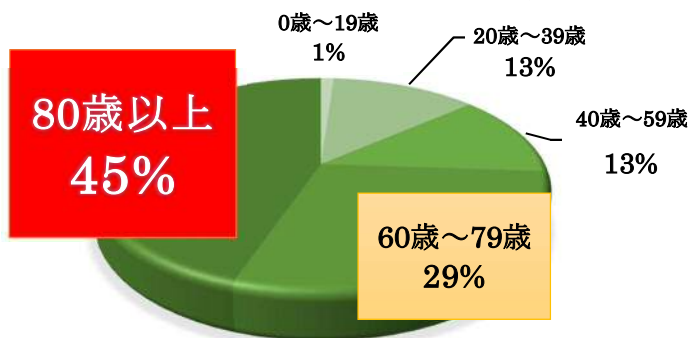


シールぼうや

高齢者の結核が増えています！

結核は、治療できる病気になり、年々減り続けています。しかしながら近年結核がかつて国民病であった時代に感染した方が、高齢化による免疫力の低下によって発病するケースが多くなっています。結核は高齢者がもっとも警戒すべき病気の一つです。

国内における
新登録結核患者の年齢別割合（2022年）



* 東大阪市（令和4年）：80歳以上46%、60歳～79歳39%

結核を新たに発症する人の**約7割**が60歳以上の高齢者です。特に80歳以上の方は4割を占めています。

高齢者の場合は、特徴的な症状が出ないことがあります。自己判断せずに早めに受診を！

結核かも!!

高齢者の結核を早期発見するためには？

日常的な健康観察

・ 高齢者の結核では、せきやたんが出ない場合も多く継続した食欲低下、体重減少など、日常的な健康観察がとても大切です。

定期健康診断での健康チェック

・ 結核の早期発見のためにも、定期健康診断を活用しましょう。

高齢者に関わるあなたとあなたの大切なひとの“健康を守る”ために

* 東大阪市では、「**肺がん結核検診**」を利用して胸部X線検査を受けることができます。

● 「肺がん結核検診」の受け方 ●

- ・ 東大阪市内の委託医療機関または、保健センターに予約し、受ける事ができます。
- ・ 対象者：40歳以上の東大阪市民（「東大阪市がん検診受診証」を提示してください）
- ・ 自己負担金：500円（保健センターは無料）*年1回

※次の方は自己負担金が無料になります。後期高齢者医療被保険者証、高齢受給者証をお持ちの方。

生活保護受給、市民税非課税世帯に属する方で事前に保健センターで無料受診券の交付を受けられた方。

☆詳しくは、東大阪市保健所 健康づくり課 072-960-3802 へお問い合わせください。